

ARIBの動き

第70回電波利用懇話会を開催

3月16日、当会の会議室にて、第70回電波利用懇話会を開催しました。今回は「地上デジタル放送推進の進捗状況 ～2011年7月24日まで、あと495日～」というテーマで、総務省情報流通行政局地上放送課課長補佐の原田秀雄様を講師にお迎えしました。

講演では、総務省が取りまとめた「地上デジタル放送推進総合対策」に基づき、2011年（平成23年）7月の地上デジタル放送への移行期限に向けて、すべての国民が引き続きテレビを視聴することができるよう、今後実施すべき施策の内容や、地上デジタル放送難視聴地区対策計画、衛星を利用した暫定的難視聴対策などの進捗状況について、さらに本年1月22日正午から1月24日正午までの48時間にわたり石川県珠洲市において実施されたアナログ放送終了リハーサルビデオも交えて、詳しくご説明いただきました。

全体を通し、受講者の高い関心を集め、活発な質疑応答がなされました。



第70回電波利用懇話会の様子と総務省 原田課長補佐

## MMACフォーラム講演会2010が開催される

3月15日に、マルチメディア移動アクセスフォーラムの主催、当会の後援及びIEEE東京支部の協賛による「MMACフォーラム講演会2010」が明治記念館において開催されました。マルチメディア移動アクセスフォーラム(以下「MMACフォーラム」という。)では、マルチメディアを「いつでも、どこでも」取り扱うことができ、光ファイバ等とシームレスな接続が可能で、持ち運びできる超高速・高品質な無線アクセスシステムであるマルチメディア移動アクセス (MMAC) の開発を目標として、調査研究、システム仕様検討、実証実験、情報交流及び普及啓発活動等を行っております。本講演会は、無線アクセスシステムの可能性を広く知っていただき、MMACの一層の活性化に役立てていただくことを目的に開催されました。今回の講演会では、MMACフォーラム会長の齊藤忠夫東京大学名誉教授から開会の挨拶に続き、4名の講師にご講演をいただきました。150名を越える方々の参加があり、各講演の後には、活発な質疑応答がなされました。



MMACフォーラム講演会2010」の様子と齊藤忠夫会長

- 講演1 「IEEE802.11の標準化動向」  
市川武男氏（日本電信電話株式会社 未来ねっと研究所  
ワイヤレスシステムイノベーション研究部主幹研究員）
- 講演2 「欧州におけるUWB規格化の検討状況」  
佐藤英昭氏（MMACフォーラム UWB-WG副主任）
- 講演3 「車内の広帯域無線伝搬特性について」  
梶原昭博氏（北九州市立大学 国際環境工学部長/工学研究科長 教授）
- 講演4 「ISM帯を利用したダイナミックスペクトラム制御アクセスシステム」  
太郎丸真氏（株式会社国際電気通信基礎技術研究所 波動工学研究所  
無線方式研究室 室長）

(注：MMACフォーラムはMMACの早期実現を図るため、MMACに関する調査研究、システムの仕様検討及び実証実験並びに周波数確保のための提言等を行っている任意団体で、現在の会員数は73社です。ARIBはMMACフォーラムの事務局を務めています。)



市川武男氏



佐藤英昭氏



梶原昭博氏



太郎丸真氏

## ARIBからのお知らせ

### 標準規格及び技術資料の一般販売見直しについて

現在、ARIB頒布図書として、標準規格及び技術資料の製本版の一般販売を行っています。

また、平成20年4月からARIBホームページからの電子ファイルの無償ダウンロードも実施していますが、無償ダウンロードご利用の増加に伴い、製本版の販売数が大幅に減少しています。

このような状況をふまえ、標準規格及び技術資料の一般販売について以下のとおり見直し、平成22年4月1日から実施することとします。

- 1 標準規格及び技術資料の一般販売を中止します。
- 2 標準規格又は技術資料の印刷版をご希望の方には、受注対応とし、実費にてご提供します。

詳細は、ARIBホームページのお知らせ (<http://www.arib.or.jp/>) または、[tosh@arib.or.jp](mailto:tosh@arib.or.jp)にお問い合わせ下さい。

## 電気通信・放送行政の動き

### デジタルコードレス電話の新方式の技術的条件案に対する意見募集 (小電力無線システム委員会報告案に対する意見募集)

【平成22年3月3日の総務省報道資料から】

情報通信審議会情報通信技術分科会小電力無線システム委員会（主査：森川 博之 東京大学教授）は、平成21年11月からデジタルコードレス電話の新方式の技術的

条件について審議を行ってまいりました。

今般、委員会報告案を取りまとめましたので、本報告案に対し、本日から平成22年4月2日（金）までの間、意見を募集します。

## 1 概要

コードレス電話は、家庭やオフィス内において使用する電話として、1987年（昭和62年）にアナログコードレス電話（250/380MHz帯）が制度化され、また、1993年（平成5年）には、周波数利用効率等の優れるデジタルコードレス電話（1.9GHz帯）が制度化され広く利用されていますが、高速データ通信等に対応するための機能の高度化は困難となっております。

このような背景を踏まえ、情報通信審議会情報通信技術分科会小電力無線システム委員会では、キャリアセンス等により現行方式のデジタルコードレス電話と共存することによって周波数の有効利用を図りつつ、高速データ通信等の高度化への対応等、新たなアプリケーションを利用可能とする新方式のデジタルコードレス電話の導入に向けて、必要な技術的条件について審議を行い、これまでの審議結果について取りまとめを行い、報告案を策定しました。

つきましては、本報告案に関して、以下の要領により広く意見を募集します。

## 2 意見募集の対象及び要領

意見募集対象：小電力無線システム委員会報告案

意見募集の締切り：平成22年4月2日（金）午後5時（郵送の場合は同日必着）

意見募集の詳細については、別

紙<[http://www.soumu.go.jp/main\\_content/000055752.pdf](http://www.soumu.go.jp/main_content/000055752.pdf)>を御覧ください。

なお、本案については、総務省ホームページ (<http://www.soumu.go.jp>) の「報道発表」欄及び電子政府の総合窓口 (<http://www.e-gov.go.jp>) の「パブリックコメント」欄に掲載するとともに、連絡先において閲覧に供することとします。

## 3 今後の予定

意見募集の結果を踏まえ、本年4月に報告を取りまとめる予定です。

詳細は<[http://www.soumu.go.jp/menu\\_news/s-news/02kiban14\\_000049.html](http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/02kiban14_000049.html)>をご参照下さい。

## 編集後記

東京・銀座のど真ん中のビルの屋上でミツバチが飼われているのをご存知でしょうか。良質の蜂蜜が採れているそうです。貸会議室を運営する会社の役員であるT氏が2006年に立ち上げたNPO法人「銀座ミツバチプロジェクト」が主体となって、自社ビルの屋上で飼育しています。

銀座で良質の蜂蜜と聞いて信じられますか。実はミツバチの行動範囲は4km四方あり、その範囲内に皇居、浜離宮、日比谷公園、銀座の街路樹などがあり、農薬を使用していない草木が豊富にあるので、非常に質のいい蜂蜜ができるので

す。2009年には800kgの蜂蜜が採れており、季節ごとにソメイヨシノ・マロニエ・ユリノキなど種類の異なる草木から蜜を集めてくるので、色々な風味や香りの蜂蜜が楽しめ、ワインのように奥の深さを感じ取ることができるそうです。

さらに、銀座周辺の草木はミツバチのおかげで受粉するので実をつけ、それを食べに鳥がやってくるという自然環境改善にも役立っているという、非常にすばらしい展開をみせています。

当会においでの際は日比谷公園に寄り、銀座から飛んできた大都会のミツバチを見つけてみてください。

(編集子:bsj)

[ページの先頭に戻る](#) ▲